

シリーズ

自治会存続について考える



2018年末に自治会が解散した福井県福井市東俣町
=1月11日（福井新聞ONLINE 2019.1.12より引用）

“福井県福井市内にある二つの自治会が、解散したことが分かった。ともに少数の高齢世帯で構成しており、地区の自治会連合会などから割り振られる役職を務める負担が大きくなったためとみられる。福井県市町振興課によると、合併に伴う解散以外で、住民が居住しながら自治会がなくなるのは県内で初めて。超高齢社会の影響や地域コミュニティの希薄化に伴う自治会解散の連鎖も今後懸念される。”（福井新聞ONLINE 2019.1.12）

自治会の解散 千厩ではどうなのか？

今回、福井県で「実質的な集落人数の減少による自治会解散」という出来事がありました。解散となった集落は“6世帯14人”、“6世帯11人”と極端に少なかったためですが、千厩では近々に自治会が解散すること（集落人数等の理由によって）は、おそらくありえないでしょう。

しかし、現在の一関市の人口は「11万7,515人(前年比-1,763人)※平成30年1月1日現在」

と年々減少しています。このままでは、いつか福井県の例のようになる地区がでてくるかもしれません。

下図1、図2を見ると、人口減少の事実や、減少している年齢の多くが7歳～39歳前後の年齢であることが見てとれます。子どもや子育て世代が「住みたい」「暮らしたい」と思えるような地域を目指すことは、人口減少へのアプローチのひとつではないでしょうか？

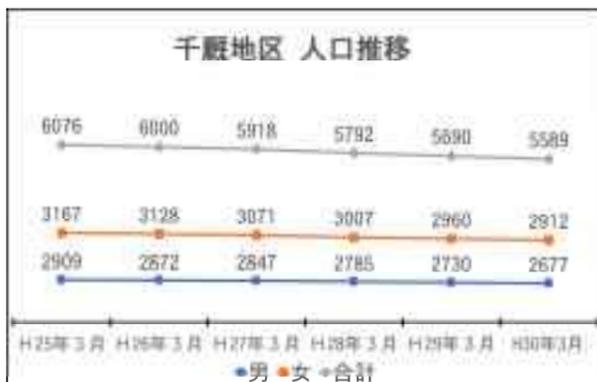


図1 千厩地区人口推移（平成25年～平成30年）

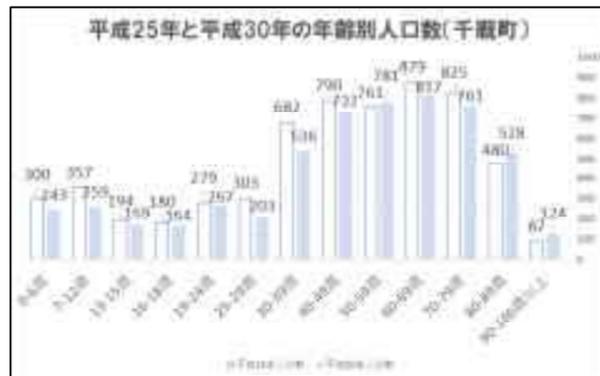


図2 千厩町年齢別人口数（平成25年、平成30年）

新たな試みで地区民祭を盛り上げる

当協議会が事務局を担う千厩地区民祭第1回実行委員会を去る12月26日に開催、本年度の内容や予算等を委員に示しました。

このうち、千厩地域の住民の活動発表として「第71回岩手芸術祭入選者（千厩）5人展」や、地域住民の秘めたエピソードを思い出す物と一緒に披露してもらう「私の思い出の物見せまショー」の2つを新たな活動展示として提案、承認されました。



地区民祭についての協議に多くの委員が出席

また、会場の駐車場対策として、千厩支所の駐車場を借用しての「シャトルバス」運行や地区住民の皆さんが魅力的に感じられるイベントの企画など、前年課題の解決にも取り組んでいます。

平成30年度千厩地区民祭は、来る3月3日（日）に開催されます。2月上旬には各ご家庭にチラシを送付予定ですので、お手元に届きましたら、内容をご一読ください。



現在検討中の地区民祭駐車場（案）

事業情報の確認や利用申請などに活用を

当協議会のホームページが11月から公開しております。今回、「事業写真」を更新しましたので、事業写真をご覧になりたい方は、トップページ上部「市民センター」または「千厩地区まちづくり協議会」をクリックしてください。

スマートフォンの場合は右上メニューをタップ、その後「市民センター」または「千厩地区まちづくり協議会」をタップしてください。まだ、ご覧になっていない方は一度ご覧になってみてください。



パソコン等の場合



スマートフォンの場合